



Japan
Food
Research
Laboratories

第 11117566001-03 号 page 1/4
2012年(平成24年)01月06日

試験報告書

依頼者 株式会社 ガイア

財団法人

日本食品分析センター

東京都渋谷区元代々木町52番1号



検体 強アルカリ電解水 pH=12.5

表題 成分の調査

2011年(平成23年)12月07日当センターに提出された上記検体について試験した結果をご報告いたします。

成分の調査

1 依頼者

株式会社 ガイア

2 検体

強アルカリ電解水 pH=12.5

なお、依頼者から対照品として「水道水」の提供を受けた。

3 試験概要

食品、添加物等の規格基準(昭和34年厚生省告示第370号)の第1食品D各条○清涼飲料水の2
清涼飲料水の製造基準の(1)ミネラルウォーター類, 冷凍果実飲料及び原料用果汁以外の清
涼飲料水の2. の基準の蒸発残留物で得られた残留物の成分を調べる。

なお、対照品から得られた蒸発残留物は、検体よりも明らかに少なかったため、本試験の
結果に影響がほとんどないと判断し、試験は行わなかった。

4 試験概要

残留物について以下の試験を行った。

- 1) 赤外吸収スペクトルの測定
- 2) エネルギー分散型X線分析法による元素の定性試験

5 試験結果及び考察

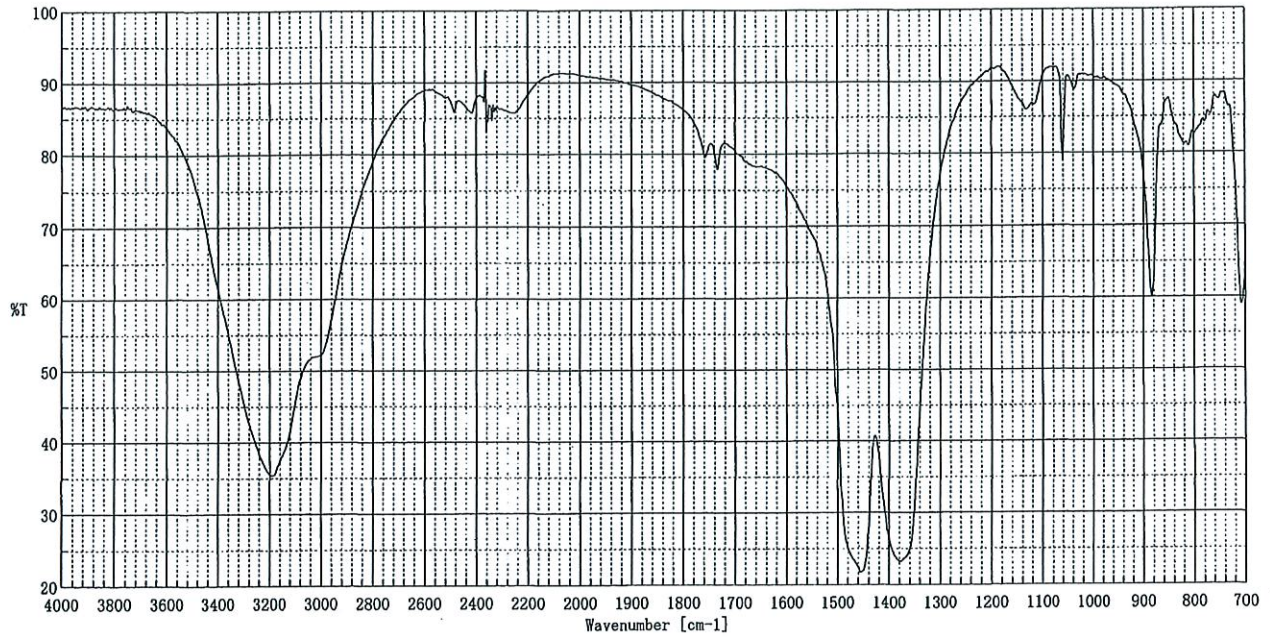
- 1) 赤外吸収スペクトルの測定

残留物のスペクトルは炭酸カリウムのスペクトルとほぼ一致した(図-1及び2)。

- 2) エネルギー分散型X線分析法による元素の定性試験

残留物から多量の炭素、酸素及びカリウムが検出された(図-3)。

以上の結果から、残留物は主に炭酸カリウムから成るものと考えられた。



サンプル名 11117566
 分解 4 cm-1
 積算回数 Auto (57)
 アポダイゼーション Cosine

図-1 残留物の赤外吸収スペクトル

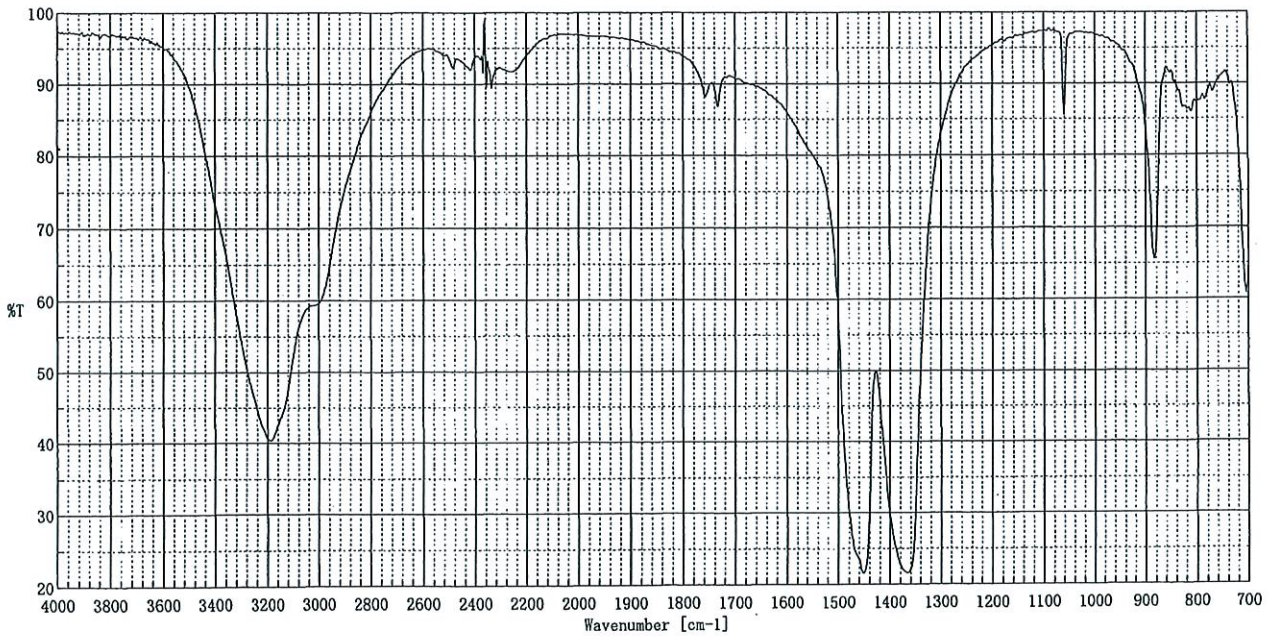


図-2 炭酸カリウム(無水)の赤外吸収スペクトル

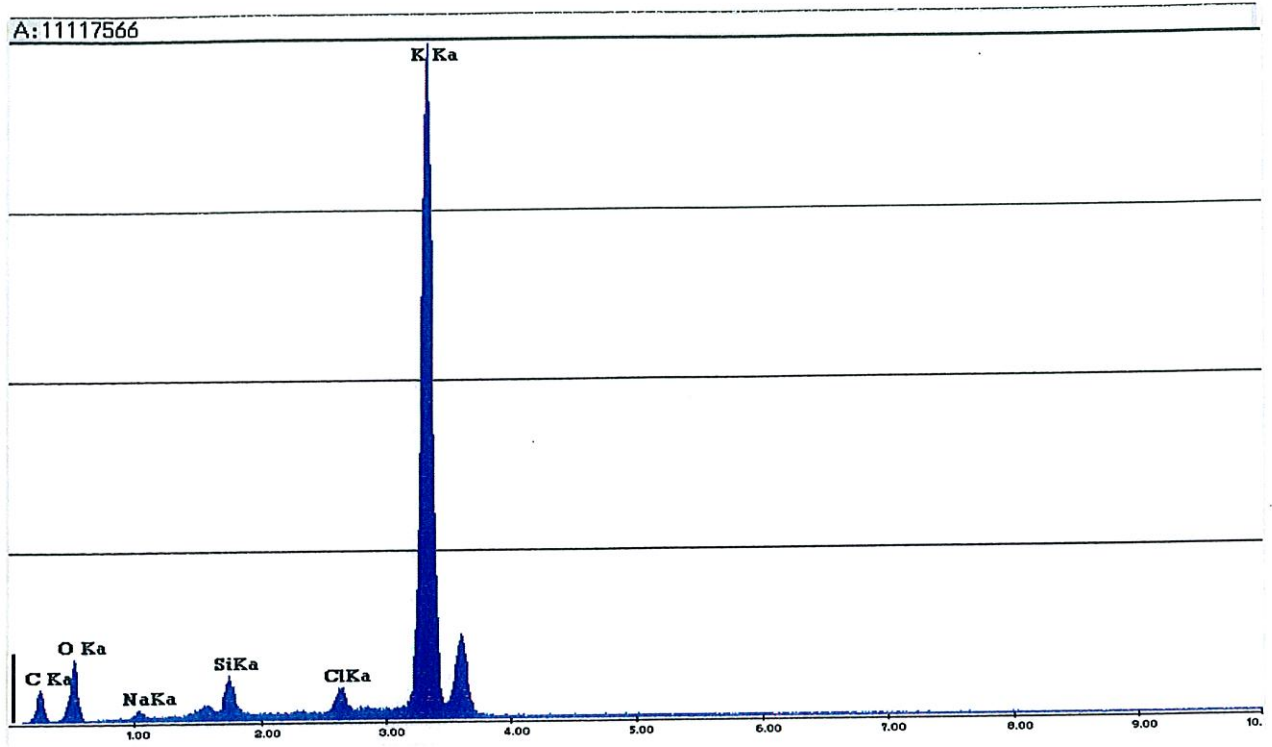


図-3 残留物の X線エネルギースペクトル

以 上